

## 十和田市事務事業評価シート

### 【事務事業の概要】

|         |  |        |           |
|---------|--|--------|-----------|
| 整理番号    | 64   | 実施計画番号 | 150       |
| 事務事業名   | 外国青年招致事業   |        |           |
| 個別事業名   |  | 事業開始年度 | 平成3年度     |
| 担当課名    | 指導課  | 事務の種類  | 自治事務      |
| 根拠法令等   |  | 関連事務事業 | 国際教育支援員事業 |
| 背景や経緯等  | 社会のグローバル化によって外国語によるコミュニケーション能力、異文化を理解・尊重し、共生しようとする態度等が求められている中、国の「語学指導等を行う外国青年招致事業(略称JETプログラム)」を利用して、外国語指導助手(ALT)を市内小・中学校に派遣している。平成3年に1名体制でスタートし、平成22年からは、小学校における外国語活動実施に向けて、4名体制となっている。 |        |           |
| 事務事業の目的 | ALTを小・中学校に派遣することにより、外国語によるコミュニケーション能力を高め、異文化を理解・尊重し共生しようとする態度を育て、国際化に対応できる人材の育成を図る。  |        |           |
| 実施状況    | 4名のALTを、市内全小・中学校に派遣し、英語及び外国語活動の授業の支援などを行った。長期休業中には、英語弁論大会の指導、イングリッシュ・デイの企画運営、教員研修の補助などにあたり、活躍範囲は多岐にわたった。   |        |           |

### 【人件費の推移】

|                   |         | 22年度実績 | 23年度実績 | 24年度計画 |
|-------------------|---------|--------|--------|--------|
| 正職員               | 従事者数(人) | 1      | 1      | 1      |
|                   | 活動日数(日) | 30     | 30     | 30     |
|                   | 人件費(千円) | 1,080  | 1,080  | 1,080  |
| 正職員以外             | 従事者数(人) | 4      | 4      | 4      |
|                   | 活動日数(日) | 245    | 245    | 245    |
|                   | 人件費(千円) | 7,252  | 7,252  | 7,252  |
| 非常勤職員<br>特別職(ALT) |         |        |        |        |

### 【事業費の推移】

|           |  | 22年度実績 | 23年度実績 | 24年度計画 |
|-----------|--|--------|--------|--------|
| 事業費合計(千円) |  | 1,504  | 1,669  | 2,524  |
| うち一般財源    |  | 1,504  | 1,669  | 2,524  |
| うち国県支出金   |  | 0      | 0      | 0      |
| うち地方債     |  | 0      | 0      | 0      |
| うちその他     |  | 0      | 0      | 0      |

### 【指標】

|      |        |            |        |        |        |     |
|------|--------|------------|--------|--------|--------|-----|
| 活動指標 | 活動指標名① | ALTの人数     |        |        |        |     |
|      | 計算式等   | 単位         | 22年度実績 | 23年度実績 | 24年度計画 |     |
|      |        | 人          | 4      | 4      | 4      |     |
|      | 活動指標名② | 派遣校数       |        |        |        |     |
|      | 計算式等   | 単位         | 22年度実績 | 23年度実績 | 24年度計画 |     |
|      |        | 校          | 30     | 29     | 29     |     |
| 成果指標 | 成果指標名① | ALTの年間派遣回数 |        |        |        |     |
|      | 計算式等   | 単位         | 22年度   | 23年度   | 24年度   |     |
|      |        | 回          | 目標値    | 750    | 810    | 810 |
|      |        |            | 実績値    | 710    | 806    |     |
|      |        |            | 達成度(%) | 95%    | 100%   |     |
|      | 成果指標名② |            |        |        |        |     |
|      | 計算式等   | 単位         | 22年度   | 23年度   | 24年度   |     |
|      |        | 目標値        |        |        |        |     |
|      |        | 実績値        |        |        |        |     |
|      |        | 達成度(%)     |        |        |        |     |

# 十和田市事務事業評価シート

|      |     |
|------|-----|
| 整理No | 64  |
| 計画No | 150 |

## 【担当課による検証】

| ポイント   |  | 検証   | 評価   | 点数 | 合計             | 検証の理由   |               |       |  |  |
|--|--|--|--|----|----------------|---|---------------|-------|--|--|
| <b>妥当性</b>   | ①  | <b>市民ニーズ等から見る妥当性</b><br>市民ニーズや時代潮流の変化により、事務事業の役割が薄れていないか   | A 薄れていない<br>B 幾分薄れている<br>C 薄れている             | A  | 2              | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">存在意義の見直しの余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;">国際化に対応する人材の育成という点から、妥当な事業である。</td> </tr> </table>  | 存在意義の見直しの余地   | 0 / 4 | 国際化に対応する人材の育成という点から、妥当な事業である。  |  |
|  | 存在意義の見直しの余地  | 0 / 4  |  |    |                |   |               |       |  |  |
| 国際化に対応する人材の育成という点から、妥当な事業である。  |  |  |  |    |                |   |               |       |  |  |
| ②  | <b>実施主体である妥当性</b><br>行政が実施することが妥当か(民間と競合していないか)                        | A 妥当である<br>B あまり妥当ではない<br>C 妥当ではない                         | A  | 2  |                |   |               |       |  |  |
| <b>有効性</b>   | ③  | <b>活動指標から見る有効性</b><br>活動指標の実績は、順調に推移しているか                  | A 順調である<br>B あまり順調ではない<br>C 順調ではない           | A  | 2              | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">成果向上の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;">ALTは、英語や外国語活動の授業をはじめ、学校行事などでも積極的に活用されている。児童生徒がALTと直接触れ合う体験は、他では代用できない。</td> </tr> </table>         | 成果向上の余地       | 0 / 6 | ALTは、英語や外国語活動の授業をはじめ、学校行事などでも積極的に活用されている。児童生徒がALTと直接触れ合う体験は、他では代用できない。     |  |
|  | 成果向上の余地  | 0 / 6  |  |    |                |   |               |       |  |  |
|  | ALTは、英語や外国語活動の授業をはじめ、学校行事などでも積極的に活用されている。児童生徒がALTと直接触れ合う体験は、他では代用できない。 |  |  |    |                |   |               |       |  |  |
| ④  | <b>成果指標から見る有効性</b><br>成果指標の目標達成状況は、順調に推移しているか                          | A 順調である<br>B あまり順調ではない<br>C 順調ではない                         | A  | 2  |                |   |               |       |  |  |
| ⑤  | <b>事務事業の見直しの余地</b><br>成果を向上・安定させるため、事務事業の見直しの余地はあるか                    | A 見直しの余地はない<br>B 検討の余地あり<br>C 見直すべき                        | A  | 2  |                |   |               |       |  |  |
| <b>効率性</b>   | ⑥  | <b>事業費の削減の余地</b><br>事務手順の見直しや正職員以外での対応により、成果を下げずにコスト削減は可能か | A コストに無駄がない<br>B 検討の余地あり<br>C 可能である<br>★ 実施済 | A  | 2              | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">コスト削減の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;">ALTの活動状況を、指導課が直接把握して支援できるメリットを考えると、民間委託ではなく、現在のJETプログラムが適切である。</td> </tr> </table>                | コスト削減の余地      | 0 / 6 | ALTの活動状況を、指導課が直接把握して支援できるメリットを考えると、民間委託ではなく、現在のJETプログラムが適切である。             |  |
|  | コスト削減の余地   | 0 / 6  |  |    |                |   |               |       |  |  |
|  | ALTの活動状況を、指導課が直接把握して支援できるメリットを考えると、民間委託ではなく、現在のJETプログラムが適切である。         |  |  |    |                |   |               |       |  |  |
| ⑦  | <b>他の事務事業との統合・連携</b><br>類似又は関連事業との統合・連携により、成果を下げずにコスト削減は可能か            | A コストに無駄がない<br>B 検討の余地あり<br>C 可能である<br>★ 実施済               | A  | 2  |                |   |               |       |  |  |
| ⑧  | <b>民間委託等</b><br>民間委託・指定管理者・PFI等により、成果を下げずにコスト削減は可能か                    | A コストに無駄がない<br>B 検討の余地あり<br>C 可能である<br>★ 実施済               | A  | 2  |                |   |               |       |  |  |
| <b>公平性</b>   | ⑨  | <b>受益の偏り</b><br>現在の受益は公平か。特定の個人・団体に受益が偏っていないか              | A 偏っていない<br>B 多少偏っている<br>C 偏っている             | A  | 2              | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">受益者負担適正化の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;">市内全小・中学校に派遣している。また、すべての児童生徒がALTと触れ合う機会を持てるように、特別支援学級、病院学級、教育相談室などへも派遣している。</td> </tr> </table> | 受益者負担適正化の余地   | 0 / 4 | 市内全小・中学校に派遣している。また、すべての児童生徒がALTと触れ合う機会を持てるように、特別支援学級、病院学級、教育相談室などへも派遣している。 |  |
|  | 受益者負担適正化の余地  | 0 / 4  |  |    |                |   |               |       |  |  |
| 市内全小・中学校に派遣している。また、すべての児童生徒がALTと触れ合う機会を持てるように、特別支援学級、病院学級、教育相談室などへも派遣している。 |  |  |  |    |                |   |               |       |  |  |
| ⑩  | <b>受益者負担の見直しの余地</b><br>現在の受益者負担は適切か。見直しの余地はあるか                         | A 見直しの余地はない<br>B 検討の余地あり<br>C 見直すべき                        | A  | 2  |                |   |               |       |  |  |
| <b>現在の適性</b>   |  |  |  |    | <b>20 / 20</b> | <b>改善の余地</b>  | <b>0 / 20</b> |       |  |  |

## 【点数化による検証】

当該事業の現在の適性は20点中 **20** 点です。

当該事業の改善の余地は20点中 **0** 点です。

## 【担当課長による評価】

当該事業の平成25年度の方向性

⇒

現状のまま継続

### 方向性の理由

平成23年度からの小学校外国語活動の導入、平成24年度からの中学校英語授業時数の増加(週3時間から週4時間へ)を踏まえると、全小・中学校へのALTの派遣及び効果的な活用を引き続き進めていく必要がある。

### 今後の具体的な取り組み方策と狙う効果

ALTの活動状況について、ALT、派遣校、指導課の間の連絡を密にとり、支援内容を充実させる。